

昭和46年度 海底牧場造成事業

日野 淑美・秋月 友治・小島 博
松岡 正義・小竹子之助

前年度に続いて本年は、アワビ稚貝保護育成の場の造成を実施した。これは、図1に示した魚田開発試験の一環である。

1. 材料及び方法

1) 材 料

保護育成の場の造成に必要な条件として消波効果の大きい沈設礁の選択並びに1~2mの浅所への設置となることから耐久性等を検討した人工礁であることと本来の目的であるアワビ稚貝の生息に適したものであること等を考慮に入れて図2に示したタートルブロック(3トン型)を試みに採用した。

2) 方 法

人工礁の沈設場所は、予め調査した適地調査結果と地先漁業協同組合の協力体制並びに沈設後の効果調査等を考慮に入れて選定した。タートルブロックは陸上で充分養生させ、強度検査等を行ってから沈設した。ブロックには13mm巾の溝を付加した。

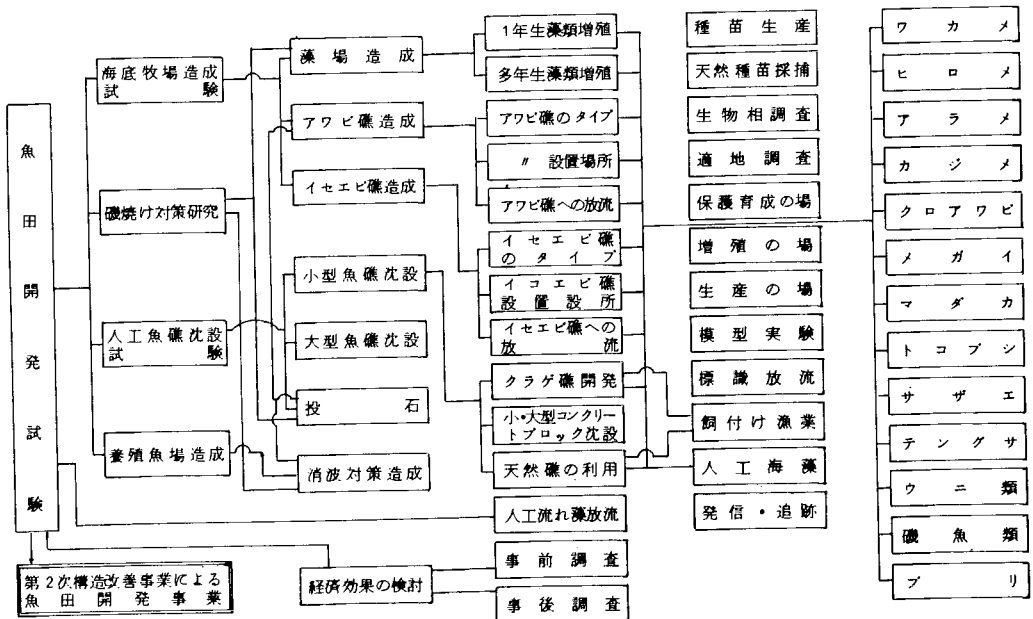


図1 徳島県南部海域の魚田開発試験系統図

更に、ブロック内部には市販の建築ブロックを内部観察用ブロックとして投入するようにした。

また、別の試みとして古タイヤ礁を設置した。

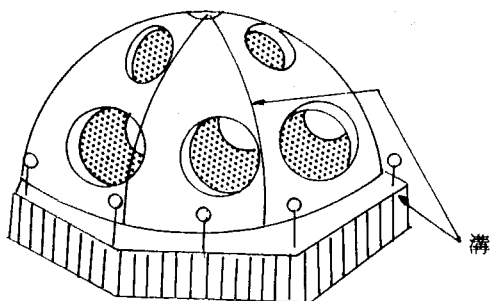


図2 タートルブロックとその仕様

2. 結 果

1) 造成場所 (図3参照)

(1) タートルブロック沈設

海部郡日和佐町友垣地先

(2) 古タイヤ礁沈設

海部郡海南町浅川加島地先

2) 実施時期と規模

(1) 第1分割工事

施行箇所 海部郡日和佐町友垣地先

施行額 1,800,000円

施行期間 昭和47年1月29日～3月20日

請負者 株式会社 大竹組

規 模 タートルブロック3トン型
40個

(2) 第2分割工事

施行箇所 海部郡日和佐町友垣地先

施行額 1,880,000円

施行期間 昭和47年1月21日～3月20日

請負者 株式会社 大竹組

規 模 タートルブロック3トン型26個

(3) 浅川地先工事

施行箇所 海部郡海南町浅川加島地先

施行額 600,000円

施行期間 昭和47年1月17日～3月20日

請負者 株式会社 大竹組

規 模 古タイヤ礁200本, コンクリート方塊15個

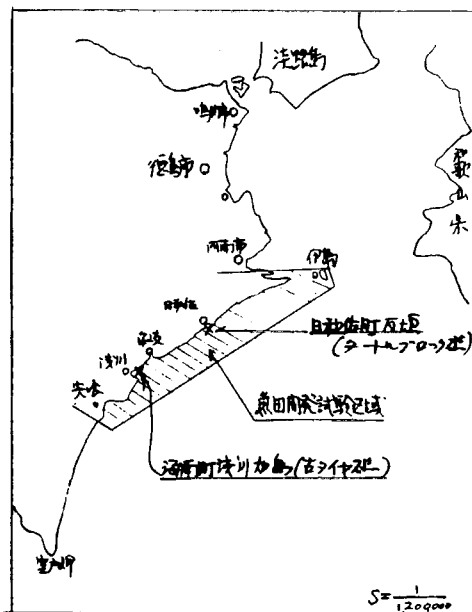


図3 アワビ稚貝保護育成場試験場所

を適宜に設けた。

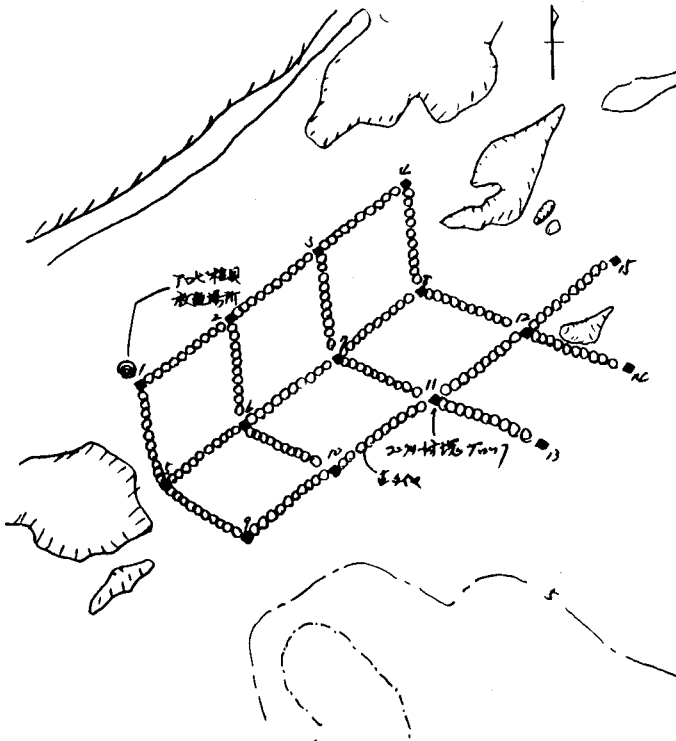


図5 浅川加島稚貝保護の場(古タイヤ礁)沈設状況

3. 今後の課題

日和佐町友垣地先はアワビ稚貝保護育成場の実験漁場としたものであるのでタートルブロックの消波効果とアワビ稚貝の放流効果を観察しながら地元漁業者の協力を得ながら初期の目的が得られるよう活用したい。古タイヤ礁については簡易な方法として考えられ稚貝の生息場所としても期待されるのでその効果と耐久性について観察しつつ改良を加えたい。

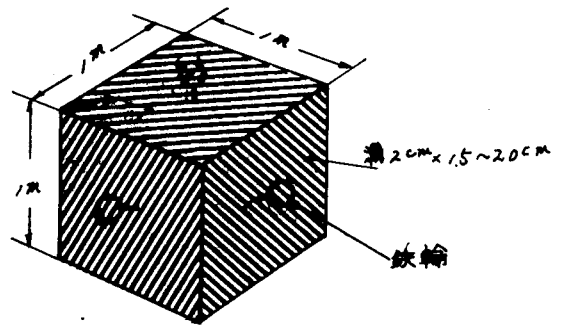


図6 コンクリート方塊略図